



ラカム

International School Japanese Section Of Riyadh

リヤド日本人学校

学校だより 4月号

2025年(令和7年)4月10日

今日の一言:皆のやる気を感じました!

本校在籍児童生徒数(4月10日現在) 小学部8名、中学部1名オアシス学級1名 計10名
4月の生活目標:『授業のやくそくを守ろう』【返事】短くはつきり 聞こえる声で「はいッ!」

笑顔の花を咲かせましょう

校長 音田 正顕

先月の半ばまで長袖のパーカーやウィンドブレーカーを着て日中歩いていたのがずいぶん前の記憶に感じるほど、ここ数日の強い日差しと高温に驚いています。最近リヤドで生活を始めた方には、より強烈に暑さを実感されているのではないでしょうか。今日も朝から玄関前の木陰の温度計は35°Cを超えていて、午後には40°C近くまで上がる予想になっています。これから7月までは容赦なく太陽が照り付けるリヤドの夏がやってきます。そんな暑さをもろともしない、元気な声がリヤド日本人学校に帰ってきました。

3月15日を限りにたくさんの思い出をこの学校に刻んだ6年生4名と4年生の児童1名が帰国して一時は寂しくなりましたが、今日の歓迎の集いで新たに5名の児童生徒を迎える、元気よく令和7年度のスタートを切ることができました。そして、今年度から、新しく特別支援学級(通称『オアシス学級』という、リヤドらしい素敵な名前をつけました。)が設置されることになり、それに伴って新しく派遣された先生を1名加え、皆さんに充実した学校生活が送ってもらえるよう、準備を進めてきました。現地採用の2名の先生(英語指導のジュマーナ先生【結婚祝賀休暇中】とアラビア語指導のサウサン先生)も合わせ、9名体制で本年度の学校運営を行って参ります。保護者の皆様には、安心してお子様たちを学校に預けていただき、その成長を見守っていただくことで学校を信頼していただけるよう、誠心誠意尽力いたします。また、学校運営理事会及び日本人会の皆様にも、日本人学校での子どもたちの活躍や成長の様子をご報告させていただき、これまでと同様に本校をご支援いただくとともに、将来を担う子どもたちの姿をご覧いただけるよう努めて参ります。

そこに共通する一つのバロメーターが、子どもたちの笑顔です。昨年度に引き続いで、中央廊下に掲示しております『笑顔の花を咲かせよう』のスローガンのもと、子どもたちの元気な声と笑顔と真剣に取り組む姿で、魅力ある学校になるよう心がけて参ります。保護者の皆様、日本人会の皆様におかれましても、どうぞ学校へお越しいただき、子どもたちの姿をご覧いただければと思います。そして、忌憚のないご意見を、校長の私まで遠慮なくお聞かせください。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

本校へのメールアドレス

① riyadhjps@yahoo.co.jp

(職員室の共有パソコンに届きます。全職員確認可)

② riyadhjpshm@gmail.com

(校長のみ閲覧可能なアドレス。授業料振込報告等)

③ 321ondmsak@gmail.com

(校長の個人アドレス。日本国内、文科省への報告等)



本年度の職員と4月の予定を紹介します。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

令和7年度の学校体制			4月の行事予定		
校長	音田 正顕	(令和6年度派遣 鳥取県出身)	4月10日	木	歓迎の集い、着任式、始業式
教務主任	平井 元昭	(令和5年度派遣 岩手県出身)	4月13日	日	実力テスト～16日
小学部低学年(1・2年) 担任	遠藤 孝	(令和6年度派遣 宮城県出身)	4月14日	月	BISR文化交流 演劇鑑賞
小学部中学年(4年) 担任	長谷川 貴洋	(令和5年度派遣 兵庫県出身)	4月15日	火	教育相談
小学部高学年(5・6年) 担任	八木 溫子	(令和6年度派遣 岐阜県出身)	4月16日	水	全校朝会、教育相談
中学部(2年生在籍) 担任	金元 弘子	(令和5年度派遣 北海道出身)	4月17日	木	全国学力調査、委員会活動
オアシス学級 担任	野本 勝彦	(令和7年度派遣 茨城県出身)	4月20日	日	保護者面談～22日
英会話・アラビック 担任	ジュマーナ		4月23日	水	発育測定
アラビック 担任	サウサン		4月25日	金	参観日、懇談、PTA総会
			4月27日	日	振替休業日
			4月29日	火	全校遠足(National Museum)
			4月30日	水	全校朝会

本年度より新設された、特別支援学級について

国は、障害のある子供の学びの場について、障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に教育を受けられるように条件整備を行い、障害のある子供の自立と社会参加を見据え一人一人の教育的ニーズに的確に応える指導を提供できるよう通常学級通級指導、特別支援学級、特別支援学校等の多様な学びの場の整備を行ってきました。

平成19年4月：特別支援教育の本格実施（平成18年3月学校教育法等改正）

平成25年9月：就学制度改革（平成25年8月学校教育法施行令改正）

・認定就学から総合的判断（本人・保護者の意向を可能な限り尊重）による就学へ。

☆生徒の障害による学習及び生活上の困難を改善・克服することをねらいとした「自立活動」などの特別なカリキュラムを実施します。特別支援学級の設置により、他の学級の児童生徒にも、共生社会の実現に向けた意識の芽生えなど、よい影響が期待されます。

今日の始業式では、児童・生徒の皆さんに、次のお話をしました。

1つ目は、「笑顔がいっぱいあふれる学校にしよう」という話です。そのためには、

① あいさつ名人になろう！とみんなに呼びかけました。『あいさつの極意』キーワード、
あ:あかるく い:いつも さ:さきに つ:つづける これを心の中で唱えながらあいさつをすると、自分が気持ちよくなつて、やさしい気持ちになれます。ぜひ、家でも学校でもコンパウンドで出会う人ともやってみましょう。と伝えました。そして、

②「自分もよくて、人もいい」という話合いの大変な心構えについて話しました。

2つ目は、『雲外蒼天』という言葉について話しました。辞書で引くと、『努力して困難を乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている』とありますが、あえて困難な状況を克服することは強調せず、雲に覆われて周りが見えないような状況の時でも、この雲の上には、いつも青い空が広がっているということを覚えておいてください。と話しました。

職員一同、力を合わせて取り組みます。1年間、どうぞ、よろしくお願ひいたします。